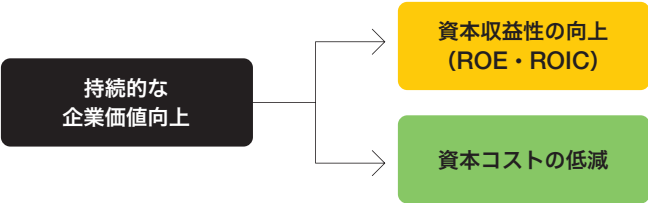


本レポートで伝えたいこと

「ヤマトホールディングス統合レポート」は、ステークホルダーの皆様との長期的な信頼関係を構築するため、経営戦略や事業概況、ESGへの取組みなど非財務情報を含めてお伝えし、ヤマトグループの中長期的な価値創造ストーリーに理解を深めていただくことを目的として発行しています。

「統合レポート2025」では、持続的な企業価値向上の観点から、「資本収益性の向上(ROE・ROIC)」と「資本コストの低減」を軸に、特にお伝えしたいポイントとして、事業ポートフォリオの変革を通じた利益成長の解説に注力しています。

CONTENTS



SECTION 1

使命と目指す姿

01

グループ企業理念

03

本レポートで伝えたいこと

05

目的地と現在地

07

挑戦とイノベーションの歴史

SECTION 2

マネジメントメッセージ

09

TOPメッセージ

13

CFOメッセージ

SECTION 3

企業価値向上のストーリー

17

価値創造プロセス

19

価値を生み出す源泉

21

2030年への道筋と中期経営計画

23

事業ポートフォリオの変革

SECTION 4

価値創造の実践

25

基盤領域

29

成長領域

33

新規領域

SECTION 5

グループ経営基盤の強化

37

人事戦略

43

デジタル戦略

45

環境戦略

49

社会戦略

55

コーポレート・ガバナンス

56

取締役会議長メッセージ

57

取締役会・監査役会の運営状況

59

役員一覧

61

指名報酬委員長メッセージ

62

役員報酬

63

株主・投資家との対話を通じた企業価値の向上

64

リスクマネジメント

SECTION 6

企業データ

65

パフォーマンスハイライト

67

10カ年データ／業績ポイント

69

グローバルネットワーク／社外からの評価

70

会社情報／株式情報

株主・投資家の関心事項・よくある質問

1

中期経営計画の進捗と、  
今後の利益成長の実現方法を知りたい

→

P.9

TOPメッセージ

P.23

事業ポートフォリオの変革

2

資本効率(ROE・ROIC)の具体的な改善策は？

→

P.13

CFOメッセージ

3

エクスプレス事業の収益性向上策は？

→

P.25

価値創造の実践：基盤領域

4

宅急便に次ぐ成長ドライバーは？  
法人向けビジネスの拡大戦略は？

→

P.29

価値創造の実践：成長領域

P.33

価値創造の実践：新規領域

5

事業変革に向けた人事戦略は？  
人的資本投資の企業価値への貢献は？

→

P.37

人事戦略

報告対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日  
(一部で上記期間外の活動も記載)

報告対象範囲

特に断りのない限り、ヤマトホールディングス株式会社および連結子会社です。財務情報は連結財務諸表の対象範囲と同一ですが、非財務情報については、一部の指標で集計対象が異なる場合があります。その際は、注記を付し、報告の正確性と比較可能性を担保しています。

将来情報に関する留意事項

本レポートには、ヤマトホールディングス株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、本レポートの作成時点で入手可能な情報に基づいたものです。これらの記述には経済情勢、消費者動向、為替レート、税制・諸制度などに関わるリスクや不確実性が多く含まれています。このため、実際の業績は、当社の見通しとは異なる可能性のあることをご承知おきください。

参考にしたガイドライン

▶ 経済産業省  
「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」

▶ IFRS Foundation(国際会計基準財団)  
「統合報告フレームワーク」

Environment  
Social  
Governance

価値協創  
ガイダンス

情報開示体系

財務情報中心

ウェブサイト:株主・投資家情報  
決算説明会資料／有価証券報告書など  
<https://www.yamato-hd.co.jp/investors/>

統合レポート

非財務情報中心

ウェブサイト:サステナビリティ  
<https://www.yamato-hd.co.jp/csr/>

03 YAMATO HOLDINGS CO., LTD. 統合レポート 2025

YAMATO HOLDINGS CO., LTD. 統合レポート 2025 04